

2019年度 日本水産工学会学術講演会プログラム

(2019年5月18日(土)～5月20日(月))

会 場

- ◆ 一般講演、総会、理事会、評議会、企画委員会 ⇒ 福井県立大学小浜キャンパス
〒917-0003 小浜市学園町1-1(TEL 0770-52-6300)

一般講演 ⇒ 第1会場(多目的ホール)・第2会場(103教室) **休憩室** ⇒ 102教室

総 会 ⇒ 第1会場(多目的ホール)、**理事会・評議会・企画委員会** ⇒ 104教室

- ◆ 会員交歓会 ホテルアーバンポート 小浜市白鳥72-1(TEL 0770-53-2001)

- ◆ シンポジウム 小浜市まちなの駅・旭座(TEL 0770-52-2000)

日 程

◆ 5月18日(土)

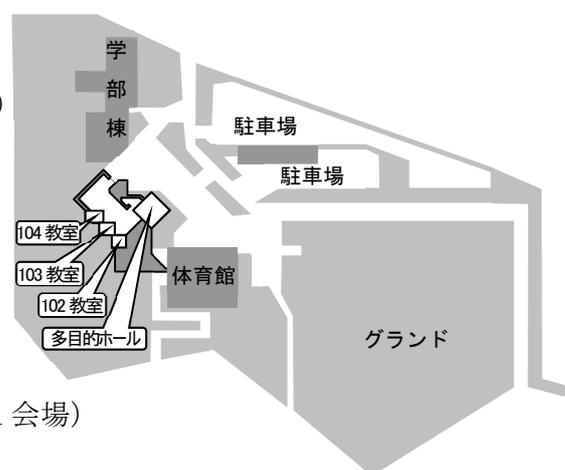
- 12:00～13:00 理事会・評議会(104教室)
- 13:15～15:45 一般講演(第1会場)、学生講演(第2会場)
- 16:00～17:00 総会(第1会場)
- 17:05～17:25 企画委員会(104教室)
- 17:25～17:40 理事会(104教室)
- 18:00～19:30 会員交歓会(ホテルアーバンポート)

◆ 5月19日(日)

- 10:00～12:00 一般講演(第1会場、および第2会場)
- 13:30～14:45 学会賞授与式、学会賞受賞者講演(第1会場)
- 14:45～16:30 一般講演(第1会場、および第2会場)

◆ 5月20日(月)

- 10:00～16:00 春季シンポジウム(小浜市まちなの駅・旭座)
「気候変動に対応できる水産工学イノベーションを探る」



なお、事前に登録した学生(学部生、大学院生、高等専門学校生など)による、一般講演(学生講演)の中から審査により、優秀な学生を学生優秀賞として表彰します。

※一般講演、学生講演の発表に関する注意とお願い

- ・講演は1件当たり15分(質疑応答含む)とし、PCプロジェクターを利用した講演とする。
- ・各会場にはPCを用意します。公演時間は発表12分、質疑3分の計15分(交代の時間も含む)です。10分で予鈴1回、定刻12分で予鈴2回を鳴らします。その後は1分経過毎に鈴を鳴らします。
- ・活発な質疑応答を望みますが、発表時間の制約もあり、さらなる質疑は発表後、もしくは会員交歓会などにて個々に行っていただきますようお願い致します。

第1会場

5月18日(土) 午後

座長 伊藤靖 ((一財) 漁港漁場漁村総合研究所)

- 13:15 101 漁港施設の機能診断への人工知能(AI)技術の活用について
○三上信雄, 梅津啓史 ((国研) 水産研究・教育機構水産工学研究所), 松本力, 完山暢
((一社) 水産土木建設技術センター), 寺澤知彦, 秋田雄大 ((株) アルファ水工コンサル
タンツ), 不動雅之, 井上真仁 (水産庁)
- 13:30 102 若狭湾における越前がにの行動生態を考慮した漁獲モデルの構築
○大竹臣哉, 上出純平(福井県立大学), 河野展久(福井県)
- 13:45 103 小規模海山近傍の粒子物質輸送過程に関する数値的研究
○古市尚基, 大村智宏 ((国研) 水産研究・教育機構水産工学研究所)
- 14:00 104 深場における高層魚礁の定点調査事例
○熊谷明生, 高山博史(神鋼建材工業(株)), 鈴木芳房((株) 海洋探査), 堅川勝三,
上北征男(日本漁場システム(株))
- 14:15 105 マイクロプラスチックに対するニューズトンネットとマンタネットの採集性能の比較について
○東海正, 田中小華, 中野航平, 黒田真央, 内田圭一(東京海洋大学)

座長 江幡恵吾(鹿児島大学)

- 14:30 106 サンゴ礁の魚類の育成場としての機能
○伊藤靖((一財) 漁港漁場漁村総合研究所), 柴田早苗((株) 不動テトラ), 深瀬一之
(水産レポート)
- 14:45 107 小型貝殻ブロックにおけるマナマコの蝸集事例—高水温期における夏眠場としての利用についての検証—
○穴口裕司, 片山貴之, 宝田和磨, 片山真基(海洋建設(株)), 浜野龍夫(徳島大学大学院)
- 15:00 108 漁港内に設置したネット入り貝殻礁へのマナマコの種苗放流(その2)
○加茂崇, 綿貫啓((株) アルファ水工コンサルタンツ), 馬内悟, 中川原将洋, 谷崎勉,
山田一徳(岩手県久慈市)
- 15:15 109 フェロニッケルスラグ骨材と石炭灰を用いた藻場造成コンクリート硬化体(ブロック)に関する実証研究
松原雄平, 黒田保, 吉野公(鳥取大学), ○及川隆仁, 渡辺健一, 西浦潤, 河原和文, 清重直也
(中国電力(株)), 大谷敏彦, 西尾友之((株) アサヒコンサルタンツ)
- 15:30 110 ゼラチンからの栄養塩溶出によるスジアオノリの生育効果
西川純泉, 川田直, 山本晃平, ○三好真千, 箕田康一(徳島文理大学)

5月19日(日) 午前

座長 長谷川一幸((公財) 海洋生物環境研究所)

- 10:00 111 海中林礁周辺の胞子移動特性
金 種圭, ○金 溶涓, 李 文沃, 李 鎮泳(大韓民國全南大学校)
- 10:15 112 長期モニタリングからわかる藻場礁の要件
○細澤豪志, 安藤亘, 斎賀守勝((株) 海中景観研究所)
- 10:30 113 岡山県のアマモ場造成の取組み I—アマモ場の現状とアマモ場造成事業の概要について—
○乾 元気(岡山県), 中力健治(岡山県農林水産総合センター水産研究所)
- 10:45 114 岡山県のアマモ場造成の取組み II—アマモ場の造成過程における魚類相の変化—
○乾 元気(岡山県), 中力健治(岡山県農林水産総合センター水産研究所)

座長 安藤亘((株) 海中景観研究所)

- 11:00 115 底質かく乱により形成されたマコンブ場の事例
○北野慎容(三洋テクノマリン(株)), 田所悟((有) 自然環境調査), 藤川義一(青森県),
橋本雅之(六ヶ所村役場)
- 11:15 116 塩生植物の群落形成を通じた干潟の生態環境改善に関する研究
○Back Sangho, Kim Seongcheol, Ha Dusik, Kim Taehoo, Park Yongwoo, Shim Changmyung
(FIRA-韓国水産資源管理公団)
- 11:30 117 多孔質材料を用いた干潟低質環境の再生
○Jong-Ryol Kim(韓国水産資源管理公団), Kyunghoi Kim(Pukyong National University),
Tae-Geon Oh(韓国水産資源管理公団), In-Cheol Lee(Pukyong National University),
日比野忠史(広島大学)

- 11:45 118 夷隅川河口砂泥域におけるコメツキガニ分布域の季節変動
○長谷川一幸, 稲富 直彦 ((公財) 海洋生物環境研究所), 中村倫明, 落合 実 (日本大学)

5月19日(日)午後

座長 丸山修治 ((国研) 土木研究所寒地土木研究所)

- 14:45 119 気候変動がウバガイの初期生活期における生残過程に及ぼす影響
○瀬戸雅文 (福井県立大学), 大久保創平 (中外テクノス (株)), 巻口範人 (道栽培公社)
- 15:00 120 エゾアワビの抗力係数と質量力係数
○中谷鷹 (福井県立大学大学院), 瀬戸雅文 (福井県立大学), 巻口範人 (道栽培公社)
- 15:15 121 流れを利用して飼育水量を圧縮したアワビ陸上養殖システムの開発と成果
○山内繁樹, 川合力哉 (北海道福島町), 中塚卓朗 (中塚建設 (株)), 安間洋樹, 高橋勇樹, 木村暢雄 (北海道大学)

座長 瀬戸雅文 (福井県立大学)

- 15:30 122 小川原湖シジミ漁場における湖底耕うんの効果と課題
○田所 悟 ((有) 自然環境調査), 藤田孝康 (日本ミクニヤ (株)), 沼田広樹 (小川原湖漁業協同組合)
- 15:45 123 蛍光 X線分析によるアサリ生息地の底質分析
○市村 康, 藤田孝康, 米花正三 (日本ミクニヤ (株))
- 16:00 124 北海道南西部における漁港構造物を活用したアサリ中間育成試験の試み
○丸山修治, 梶原瑠美子, 伊藤敏朗 ((国研) 土木研究所寒地土木研究所), 井上智 ((地独) 北海道立総合研究機構栽培水産試験場), 大橋正臣 (東海大学)

第2会場

5月18日(土)午後

座長 内田圭一 (東京海洋大学)

- 13:15 201 駿河湾の小型機船底曳網におけるアオメエソの網目選択性と網目拡大による効果の試算について
○服部 朗 (東京海洋大学大学院), 胡 夫祥, 東海 正 (東京海洋大学)
- 13:30 202 アミメノコギリガザミの種苗生産水槽を対象とした水流解析
○留目 諒, 高橋勇樹 (北海道大学大学院水産科学研究院), 三田哲也 ((国研) 水産研究・教育機構西海区水産研究所), 米山和良 (北海道大学大学院水産科学研究院), 清水智仁 ((国研) 水産研究・教育機構西海区水産研究所)
- 13:45 203 養殖場における円形水槽内の流れ解析
○坪郷浩一 (放送大学), 安原隆浩, 大内光徳 (安原環境テクノロジー (株)), 角田哲也 (大島商船高専)
- 14:00 204 Experimental and field studies on influences of square cages with fish on physical environment
○Sang-gyu Park, Jinxin Zhou (Graduate School of Engineering, The University of Tokyo), Shuchuang Dong, Qiao Li, Takeru Yoshida, Daisuke Kitazawa (Institute of Industrial Science, The University of Tokyo)

座長 川崎潤二 ((国研) 水産研究・教育機構水産大学校)

- 14:15 205 日本周辺沖合域における海底ごみの現状
○黒田真央, 内田圭一, 東海正 (東京海洋大学), 向井徹, 今井圭理 (北海道大学), 森井康宏, 八木光晴, 清水健一 (長崎大学), 三橋廷央, 内山正樹, 東隆文 (鹿児島大学)
- 14:30 206 ビデオカメラを用いた海洋ごみ調査の基礎的研究
○鈴木稜平 (東京海洋大学海洋資源環境学専攻), 内田圭一 (東京海洋大学学術研究院), 黒田真央 (東京海洋大学応用環境システム学専攻), 塩出大輔, 宮本佳則 (東京海洋大学学術研究院)
- 14:45 207 小型底びき網漁船における操業日誌記録と水質ロガー記録との突合手法について
○鈴木翔太, 多部田 茂, 水野勝紀 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
- 15:00 208 IoTを用いたホッケ刺網漁業におけるCPUEの推定
○黒川大智, 和田雅昭 (公立はこだて未来大学)

5月19日(日)午前

座長 高尾芳三((国研)水産研究・教育機構水産工学研究所)

- 10:00 209 養殖海域の環境容量の数値解析に関する研究
○北澤大輔(東京大学生産技術研究所), 周金鑫, 朴相圭(東京大学大学院工学系研究科), 張俊波(上海海洋大学), 董書闊, 李僑, 吉田毅郎(東京大学生産技術研究所)
- 10:15 210 韓国西海 Gusipo 海水浴場の沿岸域における海洋環境特性
○李文沃, 崔亨旭(大韓民国全南大学校), 金炳国((株)韓国ガス公社)
- 10:30 211 採泥器付きROVによる人工魚礁近傍での底泥試料採取の試み
○須藤賢哉, 稲葉信晴, 伊藤敏朗((国研)土木研究所寒地土木研究所), 中村知道, 松岡央明, 吉田侑矢, 吉野真史((株)アルファ水工コンサルタンツ)
- 10:45 212 水深90mの人工魚礁周辺における付着生物相観測-再回収型海底係留装置を用いた試験礁の調査結果について-
○松岡央明, 吉田英雄, 吉野真史, 中村知道, 吉田侑矢((株)アルファ水工コンサルタンツ) 須藤賢哉, 伊藤敏朗((国研)土木研究所寒地土木研究所)

座長 松下吉樹(長崎大学)

- 11:00 213 種子島沿岸における新規かご漁業導入のための試験操業
○江幡恵吾(鹿児島大学), Anukorn Boutson(カセサート大学), 田中秀治(タナカ漁網(株)), 迫立昭政, 濱上至, 浦添孫三郎(種子島漁業協同組合)
- 11:15 214 定置漁業・養殖業を対象とした作業分析-主に甲板上での漁労作業を対象とした時間研究-
○川崎潤二, 井関海翔, 酒井健一, 下川伸也((国研)水産研究・教育機構水産大学校), 三好潤, 高橋竜三(水産研究・教育機構水産工学研究所)
- 11:30 215 相模湾において営まれる小型定置網漁業の船上作業環境について
○高橋秀行((国研)水産研究・教育機構水産工学研究所), 前川千尋(神奈川県水産技術センター相模湾試験場)
- 11:45 216 調査船たか丸を用いた漁船情報集約システムの構築と試行
○高尾芳三, 溝口弘泰, 今泉智人, 藤田薫, 三好潤((国研)水産研究・教育機構水産工学研究所), 大島達樹((国研)水産研究・教育機構 開発調査センター), 西山義浩(古野電気(株)), 山口晶大((株)環境シミュレーション研究所), 伊勢賢司(東北電技工業(株))

5月19日(日)午後

座長 長野章((一社)全日本漁港建設協会)

- 14:45 217 水産基盤施設ストックマネジメントの効率化に向けたUAVの活用
○橋本康延, 竹ヶ原弘光, 神田康嗣((株)水域ネットワーク), 大竹臣哉(福井県立大学)
- 15:00 218 施設整備による経営効率化・軽労化 - 苫小牧港漁港区屋根付岸壁の例 -
○松尾優子(苫小牧工業高等専門学校), 片石温美(中央大学研究開発機構), 伊藤信孝(苫小牧漁業協同組合), 多田英彦(北日本港湾コンサルタント(株)), 田中淳((一社)寒地港湾技術研究センター)

座長 高橋秀行((国研)水産研究・教育機構水産工学研究所)

- 15:15 219 漁港施設点検システムの機能保全計画等老朽化対策等への活用について
長野晋平, 和田雅昭(公立はこだて未来大学), 阿部幸樹(岩手県), 池田博文(高知県), 不動雅之(水産庁), ○長野章((一社)全日本漁港建設協会)
- 15:30 220 ブランド化を目指したトレーサビリティと情報入力を簡素化したシステムの構築
伊藤徹也(北海道開発局), 戸松真介(北日本港湾コンサルタント(株)), 中村直樹(歯舞漁業協同組合), 清野聡子(九州大学), 長野晋平((株)ティエスビジュアルリサーチ), ○長野章((一社)全日本漁港建設協会)
- 15:45 221 作業船位置・回航情報システムの機能高度化と普及について
○長野晋平, 和田雅昭(公立はこだて未来大学), 阿部幸樹(岩手県), 池田博文(高知県), 田中修一((一社)長崎県港湾漁港建設業協会), 長野章((一社)全日本漁港建設協会)
- 16:00 222 漁村情報ポータルサイトのコンテンツ充実とインバウンド対策について
○長野晋平((株)ティエスビジュアルリサーチ), 劔崎聖生(水産庁), 清野聡子, 田村美香(九州大学), 田原正之, 長野章((一社)全日本漁港建設協会)

5月20日(月) 10時～16時

2019年度日本水産工学会春季シンポジウム「気候変動に対応できる水産工学イノベーションを探る」

主催： 日本水産工学会

場所： 小浜市まちの駅・旭座（〒917-0069 小浜市白鬚 111-1（JR小浜線「小浜駅」より徒歩約10分）

参加費： 無料（学術講演論文集に春季シンポジウム講演要旨は含まれています。春季シンポジウムのみ参加される方で、シンポジウム講演要旨集の購入を希望される方は、当日受付で販売いたします）

申込方法： 事前にお申し込みください。

件名を「2019年度日本水産工学会春季シンポジウム申込」として、下記の必要事項①～③をご記入の上、E-mailで setom@fpu.ac.jp（瀬戸雅文 宛）まで送信ください。

必要事項：①氏名、②所属、③連絡先（住所、TEL、E-mail）

プログラム

10:00～10:05 開会挨拶 大竹臣哉（日本水産工学会会長）

10:05～10:15 企画趣旨説明 瀬戸 雅文（福井県立大学）

第1部 社会の動向と水産の未来

10:15～10:50 気候変動を取り巻く環境史と世界の流れ アン・マクドナルド（上智大学）

10:50～11:25 日本沿岸の海洋生態系や社会に及ぼす影響 藤井 賢彦（北海道大学）

11:25～12:00 日本海で進行する気候変動の影響 荒巻 能史（国立研究開発法人国立環境研究所）

12:00～13:00 休憩

第2部 持続可能な対応と技術

13:00～13:35 気候変動による回遊性魚介類の変化と日本漁業の適応
木所 英昭（国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北水産研究所）

13:35～14:10 塩分環境の変化は汽水湖生態系の魚種組成を劇的に変化させる 富永 修（福井県立大学）

14:10～14:45 ブルーカーボンを利用した気候変動の緩和適応策の実践
堀 正和（国立研究開発法人水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所）

14:45～15:20 気候変動に対応する漁場整備 三浦 浩（一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所）

15:20～15:30 休憩

15:30～15:55 総合討論 進行：瀬戸 雅文（福井県立大学）

15:55～16:00 閉会挨拶 綿貫 啓（日本水産工学会 企画担当理事）